

クラブ紹介

私たちのクラブ自慢を聞いてください!!



高校ダンス部

High School Dance Club



今年から中学ダンス部の部員が増え、中学も単独で公式戦に出場が可能に。それもあって、高校と中学は別々に練習することになりました。高校ダンス部のチーム名は「美心美舞」(びしんびまい)。美しい心で懸命に踊り、観てくれる人を笑顔にできるようなダンスを目標に活動しています。2022年にはUSA Regionals 関西大会ジャズ部門第3位に輝いた実力派チーム。「自分たちが考えた振りが揃った時はとても楽しいし、嬉しい。でも、振りがうまくいかない時はとてもしんどい。特に大会前の踊り込みの期間はそれを痛感しますね」と部長の波戸根さん。夏にあるDCCとダンススタジアムに向けて、そして冬のUSA大会で最高の結果が得られるよう「美心美舞」は常に前を走っています。「部員皆が仲よし。チームワークがいいのがウチの売りです!!」

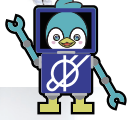


部長 波戸根 彩帆 さん(2年生)

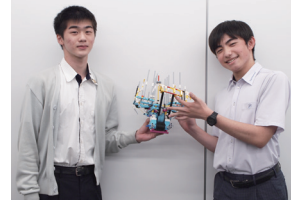
部長の波戸根さんも未経験から国際のクラブ活動でダンスを始めたそうです。今は振り付けや動きをチーム皆で考えた和風テイストの創作ダンス「鳳華(くのいち)」で、昨年冬の大会で果たせなかったダンススタジアム予選突破を狙っています。

コンピュータ部

Computer Club

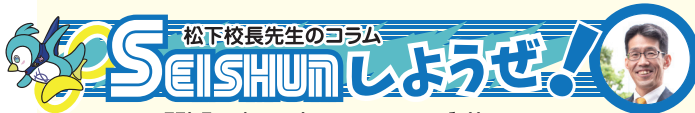


コンピュータ部は昨年秋に同好会から部に昇格した、部員数が総勢30名にもなる文化系クラブの一つ。主な活動内容はプログラミング。1年生は校内での先生の呼び出しプログラムを制作、2年生はロボットプログラミングを中心に活動しています。昨年は宇宙エレベーターロボット競技会に出場し、関西オープンで優勝、全国では7位でした。クラブの特徴としては「コンテストがある時は集中して活動するけど、基本は各自がやりたいことをやりたい日に部屋に来てやる」というフレキシブルな活動スタンス。だからこそ、プログラミング技術を極めたい人にはもってこいな自由で集中できる環境が整っています。今年の目標は宇宙エレベーターロボット競技会で優勝すること。大阪国際のコンピュータ部は今、燃えています!!



(右) 部長 久松 春翔 さん(2年生)
(左) 前部長 小齊 平 猛 さん(3年生)

昨年全国7位で悔しい思いをしたロボットコンテスト。「久松部長が部員たちを引っ張って、今年こそは悲願の全国優勝を果たしてくれるでしょう!!」と前部長小齊さんのコメントに「まかせてください!!」と答える部長の久松さん。



松下校長先生のコラム

Hi, Let's enjoy our youth!!

突然ですが、みなさん、青春していますか?

季節はすっかり夏ですね。みなさんが、それぞれの思いを胸に、新年度を迎えた春はもう随分前のような気もします。

さて、その「春」ですが、「春」の漢字は今の字形と少し違い、《艸(くさ)》と《屯》と《日》からできていました。この《屯》は「草木が芽生えるさま」を表し、そこから「春」とは「うらかな陽ざしのもとに草木が芽を出す」意味だといえます。古代中国人は、万物の生命力が旺盛に燃え出そうとする時節を、植物が芽生えるさまで表現したわけです。春になると、茶色の大地のところどころから緑の若芽が顔を出してくる。古代の中国ではその色を「青」で表現しました。

「青」と「春」をつなぐと「青春」となります。青春とは芽吹きだした植物のように無限の可能性を秘めて、これから花を咲かせていく時期なのです。

みなさんは、今、「青春」まっただ中です。そして今、みなさんは人生の中でも一番多感な時期でしょう。色々なことを経験してくださ

い。楽しいことも、うれしいことも、時には苦しいことも、悲しいことも。今しか感じられないことや考えられないことがたくさんあります。大人になったら、同じことはもう感じられせん。「青春」時代の思い出がたくさんあればあるほど、みなさんの人生は豊かになります。

サムエル・ウルマンというアメリカの詩人が「青春」という詩を書いています。

「青春とは、真の青春とは、若き精神の中にある。強い思い、豊かな想像力、燃えあがる情熱、そうしたものをこんこんと湧き出る泉のように、持ち続けることが大切だ。臆病な精神の中に青春はない。さらなる前進のために発揮される勇気と冒険心こそ青春はある。」

みなさん、何事にも好奇心旺盛に関心を持ち、まずはやってみよう!の精神でチャレンジしましょう。失敗したっていいんです。それが若さの専売特許です。ぜひみなさん、「青春」を謳歌(おうか)してください!

それでは、... 今日「SEISHUNしようぜ!」